

単元名	【旧】動きをとらえて 形を見つけて 一風をとらえてー(造形遊び)	配当時間	4時間
単元の目標	(1) 風が流れる姿がよく表れるように、いろいろな材料を試して、使い方を工夫することができる (2) 活動場所の風が吹く様子を基に、風が見えるための形や色、場所の構成を考えることができる 場所や材料の特徴を生かした、風が流れる姿のよさや美しさを感じ取ることができる。 (3) 風が吹いている場所の特徴を生かして、風が吹く様子を可視化することに取り組もうとしている。		

標準的な展開例

06080208_001

【準備等】木材、竹ぐし、段ボール、色セロハン、透明シート、段ボールカッター、ビニールひも、ロープ、ネット、粘着テープ、セロハンテープ、デジタルカメラ、サインペン、のり、はさみ

学 習 活 動	留 意 事 項 など
1 参考例を見て、課題をつかむ。 ○教科書の参考例を見る。 ★材料や場所の特徴を生かして、風の姿が美しく見えるようにしよう ○風が吹いている場所を探す。 ○場所の特徴や、風の吹く様子を捉えて、どのように可視化するか話し合う。(言語活動) 2, 3 場所や環境を生かし、材料をいろいろ組み合わせでつくる。 ○身近な材料を使ったり、組み合わせたりしながら、風を可視化するものを工夫してつくる。 ・遊具やフェンスをビニールひもで飾る。 ・ビニールシートをひもでしばって浮かせる。 ・ビニールひもを棒やロープに結ぶ。 4 鑑賞会をする。 ○活動場所の特徴や材料の特徴を生かして表されたもののよさや、風が動く姿の美しさについて話し合う。	・教科書5・6下 P.10 ・教科書の参考例を見せ、身近な場所を見つめ直し、いつもとは違う空間に変える造形活動をグループで行うことを知らせる。 ・このような造形遊びの単元は各学年の教科書でも多く紹介されている。活動の見通しをもたせるためにも、多くの参考作品を見せるとよい。 ・学校の環境や施設を調べて、安全性を考慮しながら活動に適した場所を見つけておく。 ・体で感じた風の様子を擬態化・擬音化するように働きかけ、表現に向けて場所によって異なる風の流れや表したい風の様子をグループで共有させる。 ・いくつかの材料を試しながら話し合いが進められるようにするとよい。 ・ロープや飾りがとれないような付け方を考えさせる。 ・飾りなどがしっかり付けられているか再度結び目を確認させる。 ・色の構成、光の効果などを確かめながらつくる。 【評】活動を通して、風が吹く様子を可視化する活動に取り組もうとする「関心・意欲・態度」を評価する。 ・自分たちだけで楽しむのではなく、他の学年の児童にも楽しんでもらえるようにするとよい。 ・風の流れを体で感じながら、それぞれのグループの工夫している点を伝え合わせる。 ・活動場所の特徴を、それぞれのグループがどのように捉えて、材料の形や色をどのように工夫し動きを表したのかが分かるよう、活動の様子や全体の様子をデジタルカメラで記録し、掲示するとよい。 ・使った場所を元通りにし、材料は分別して片付けさせる。

【 備 考 】

この単元では、風と場所の特徴を基に、場所の様子と考え合わせて、材料などを工夫して風を美しく表す活動をする。見えないもの、とらえどころのないものでも関わり方や働きかけ方を工夫すれば手応えを得られることに、面白さを感じ取らせたい。そのためには、場所の特徴や、風の吹く様子をとらえて、風を可視化する方法をみんなで考えることが大切である。鑑賞では、活動場所や材料の特徴を生かして表されたもののよさや、風が動く姿の美しさについて話し合うことも大切である。また、自分たちだけで楽しむのではなく、他の学年の児童にも楽しんでもらえるようにするとよい。